

授業コード / Code	科目名 / Course Title	担当者 / Instructor	履修年次 / Semester	授業形態・単位数 / Style · Credits	必修選択の別 / compulsory subjects or optional subjects
j29212	言葉指導法	竹内 直人	1年次・後期	演習・1単位	幼児・保育士必修

授業の概要 / Course Outline
保育所保育指針・幼稚園教育要領に示された領域「言葉」の内容と言葉の機能について知り、乳幼児の言葉の発達が人格形成と深くかかわることを理解し、言葉を育む保育の内容・指導法・教材・人的環境としての保育者の在り方について学ぶ。

到達目標 / Attainment Objectives	ディプロマポリシーとの対応関係 / Relationship with the diploma policy
・言葉の機能について知り、乳幼児が言葉を獲得することの意味を理解。	A-② B-②
・保育所保育指針・幼稚園教育要領に示された領域「言葉」の内容の理解。	A-② B-②
・乳幼児の言葉の発達過程を理解し、言葉を育む援助の在り方を知る。	A-② B-②
・言葉の発達につながる文化財(絵本・紙芝居・言葉遊びなど)を知る。	A-② B-②

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation		
種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記) End of Semester Examination (Written)	50%	講義内容の理解を問う。
レポート試験 Report Examination	30%	15回の授業後のレポート
実技試験 Practical skill test	0%	
平常点評価 Continuous Assessment	20%	授業中に行うアクションペーパー・グループ討議発表

教科書 / Textbooks
『デザインする保育内容指導法「言葉」』田中謙編著 ISBN978-4-909375-09-5

参考書 / Reference Books

予習・復習 / Preparation・Review
1. 配布する資料をよく読み、その週の授業の復習、および次の週の授業の予習をしておくこと
2. わからないことはよく頭の中でまとめ、次の週の「質問」として準備しておくこと

課題に対するフィードバック方法 / How to give feedback on tasks

その他 / Others
絵本や紙芝居などに関心を持ち、日ごろからなるべくたくさん読んでおくこと

## 授業スケジュール / Course Schedule

※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。

授業回数 Lecture	テーマ / Theme
	内容 / Contents
01	<b>言葉の機能</b> 人間にとって言葉はコミュニケーションの道具としてだけでなく思考・行動調整などのはたらきがあることを理解する。
02	<b>保育所保育指針・幼稚園教育要領の領域「言葉」</b> 領域「言葉」は、ねらいと内容がどのように表記されているのかを理解する。
03	<b>乳幼児の言葉の発達①</b> 0歳～1歳、喃語から有意味語の獲得までの過程を知る。
04	<b>乳幼児の言葉の発達②</b> 1歳半～3歳位までの言葉の発達と、この時期の特徴を知る。
05	<b>乳幼児の言葉の発達③</b> 4歳児以降の言葉の発達—園生活の中で言葉を使って自分を表現している事例などを通して学ぶ。
06	<b>言葉を育てる環境</b> 日常生活の言葉、絵本・紙芝居などを通して出会う言葉、テレビなどのメディアの言葉、それぞれの特徴を学ぶ。
07	<b>「読み書き」言葉の発達</b> 文字の指導について領域「言葉」ではどのような取り扱いをしているのか理解し、指導方法を学ぶ。
08	<b>言葉を育てる文化財①</b> 子どもの言葉を育てる文化財にはどのようなものがあるのを知る。
09	<b>言葉を育てる文化財②</b> 絵本の選び方・読み聞かせの仕方などを演習を通して学ぶ。
10	<b>言葉を育てる文化財③</b> 紙芝居の演じ方を演習を通して学ぶ。
11	<b>言葉遊びの指導</b> なぞなぞ、しりとり、わらべうたなど言葉遊びの種類、指導法を学ぶ。
12	<b>言葉を育てる保育者の援助①</b> 保育者としてふさわしい話し方について学ぶ。
13	<b>言葉を育てる保育者の援助②</b> 子どもの言葉を育てるための援助を事例を通して学ぶ。
14	<b>言葉の発達の遅れ</b> 言葉の発達に遅れのある子どもに対する対処の仕方・指導について学ぶ。
15	<b>まとめ</b> 講義内容の確認を行う。